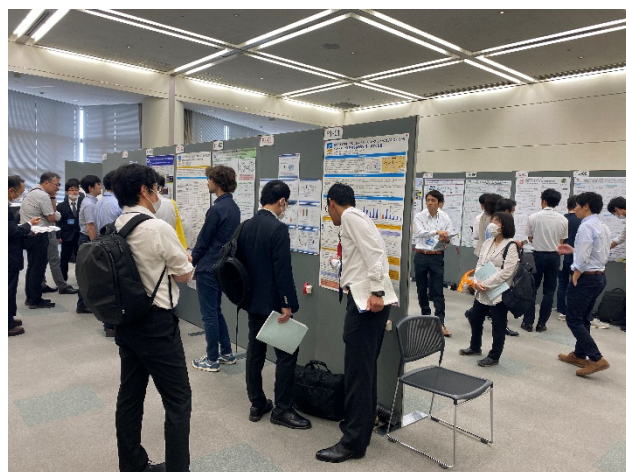


## 第39回シクロデキストリンシンポジウム開催のご報告

この度、2023年9月20日(水)、9月21日(木)の両日にわたり、第39回シクロデキストリンシンポジウムを名古屋国際会議場にて開催致しました。大学、企業関係者を含め、総勢154名のご参加を頂戴し、無事にシンポジウムを開催することができました。

初日の午前には、学生による発表を中心とした7演題の一般口頭発表があり、昼食を挟んで23演題のポスター発表が行われました。ポスター会場では企業展示も行われ、多くの参加者がブースを訪れ、盛んな交流が行われました。続いて生越友樹先生(京都大学、金沢大学)より「柱型環状ホスト分子「ピラー[n]アレーン」を基にした分子空間材料」と題して、先生が創製した新規なホスト分子であるピラー[n]アレーンについての研究成果をご講演いただきました。その後開催された総会ではシクロデキストリン学会賞および奨励賞の授賞式が執り行われました。続いて学会賞を受賞された山村初雄先生(名古屋工業大学)より「クリックケミストリーによる抗菌シクロデキストリン誘導体の合成と機能に関する研究」と題してご講演を行っていただきました。また、奨励賞を受賞された、鈴木陽太先生(埼玉大学、上智大学)から「シクロデキストリン空孔を反応場として活用する超分子分析試薬の開発」、吉清恵介先生(島根大学)から「シクロデキストリンの油同化促進機能に関する研究」と題して受賞講演を行っていただきました。初日の講演終了後には、名古屋クレストンホテルにて、シクロデキストリン工業会の主催による懇親会を開催いたしました。そこでは優秀発表者賞として新鞍尚希氏(東京大学)、ポスター賞として安藤翔太氏(東京大学)、小松ひより氏(筑波大学、物質・材料研究機構)、田原春徹氏(熊本大学)の表彰も行われました。そして、これらの方々には今年度設立された「高橋圭子賞」が副賞として授与されました。



二日目の午前は、3 演題の一般口頭発表が行なわれ、活発な質疑応答が行われました。続いて、東大志先生(熊本大学)より「シクロデキストリンポリカテナンの合成と超分子医用素材への応用」と題する招待講演行っていただきました。次いで、企業講演セッションとして愛知・東海地方の関係企業である、日本食品化工株式会社、佐藤食品工業株式会社、およびブラザー工業株式会社よりご講演いただきました。そしてランチョンセミナーでは寺尾啓二先生(株式会社シクロケム)により「食品分野におけるシクロデキストリン応用研究から生まれたパーソナル化サプリメント」と題したご講演をいただきました。午後からは 24 演題のポスター発表が行われ、活発な討論がなされました。続いて一般口演 4 演題が行われ、最後まで白熱した議論がなされる中、盛会のうちに終了致しました。

本シンポジウムの開催にあたり、日本応用糖質科学会、日本化学会、日本素材物性学会、日本糖質学会、日本薬学会、日本薬剤学会、高分子学会、日本分光学会、日本分析化学会、ホスト・ゲスト・超分子化学研究会、有機合成化学協会、日本農芸化学会に共催・協賛・後援のご協力をいただきました。また、賛助いただきましたアサヒクオリティ・アンド・イノベーションズ株式会社、アリメント工業株式会社、出光興産株式会社、塩水港精糖株式会社、株式会社コサナ、株式会社シクロケム、株式会社シクロケムバイオ、株式会社ネクスト、千寿製薬株式会社、大成化工株式会社、大鵬薬品工業株式会社、トイメディカル株式会社、東洋カプセル株式会社、日本シクロデキストリン工業会、日本食品化工株式会社、ブラザー工業株式会社、三井化学株式会社、メディポリス医学研究所、ユシロ化学工業株式会社、湧永製薬株式会社の皆様に心より御礼申し上げます。加えて、多大なご支援を賜りました大幸財団および中部電気利用基礎研究振興財団に篤く御礼申し上げます。

そして、本シンポジウム全般にわたり、ご指導とご支援を賜りました伊藤 耕三会長、寺尾啓二副会長、早下隆士前会長、ならびに第 38 回シクロデキストリンシンポジウム実行委員長の石丸雄大先生をはじめとする学会関係者の皆様に心より御礼申し上げます。さらに、懇親会開催にご尽力いただきましたシクロデキストリン工業会、シンポジウム開催にご尽力いただきました実行委員会、本学会事務局、ならびに学生を含めた関係の皆様に篤く御礼申し上げます。

第 39 回シクロデキストリンシンポジウム実行委員会

実行委員長 山村 初雄

(名古屋工業大学 大学院 工学研究科)